

勉強会に参加しました

当院の大垣院長が、7月24日に若松医師会主催で開催された「若松区地域ケア研究会」に参加いたしました。若松区地域ケア研究会は、平成6年(1994年)より毎月開催されている歴史ある勉強会で、今回は記念すべき第350回となり、テーマは「死体検案の現状と課題」でした。

- ・ 福岡県では、年間約7,000件の検案が行われている
- ・ 若松区では、そのうち約120件
- ・ 病死が約70%を占め、それ以外では自殺や自己過失(入浴中の溺水、高所からの転落など)が含まれる
- ・ 犯罪死は全体の0.2%
- ・ 地域・行政・医療・警察の連携強化が重要である
- ・ 特に、地域による見守り活動の充実が求められている
- ・ 具体的には、ご家族が1日1回、親御さんに連絡を取り安否を確認することが望ましい
- ・ ご遺体が傷む前に発見できるよう、日頃から民生委員などを通じた地域のつながりを大切にすることが必要

上記の他にも様々な知見を得ることができ、大変有意義な内容でした。

このような貴重な学びの場に参加できたことを心より感謝するとともに、今後も地域の皆様とともに、高齢者や独居世帯の見守り体制の強化に積極的に取り組んでまいります。

